

「不幸」「不幸」といふ、主観に依拠し一義的に決まるはずのない「価値」を「障がい」に紐づけ「不幸」だとすること何ら論理性はなく、その意味において「障がい」は不幸ではない（障がい≠不幸）との言説もまた、当然成立するトートロジーだと言えます。

この当たり前の件（くさり）を2つ重ねただけのシンブルな言い回しは、例えば「田舎暮らしは不便ですが不幸ではありません」という話とさして変わりはありません。にもかかわらず、彼女の遺言（いげん）は私たち障がい福祉従事者の心にさざ波を立て

「ここである」「障がい」とは心身機能に限る円滑な社会生活を阻害する諸課題（つまり、障害）のことであり、「健常者」を生活主体としデザインされた私たちの暮らしの中の「不便」そのものを言い表しています。その意味で「障がい」「不便」という言説は「障がい」は障害」という類語反復に過ぎず、当たり前の話、となります。また、「不幸」「不幸」といふ、主観に依拠し一義的に決まるはずのない「価値」を「障がい」に紐づけ「不幸」だとすること何ら論理性はなく、その意味において「障がい」は不幸ではない（障がい≠不幸）との言説もまた、当然成立するトートロジーだと言えます。

卑近ですが、私は視力0.1を切る近視で眼鏡なしには生活できません。しかし、障がいがあるとは誰も見なしませんし、眼鏡購入に補装具のような助成があるわけでもありません。日本人の実に半数以上が近視であり普通のことだからです。しかも視力補正器具は市場が大きく眼鏡やコンタクトレンズの低価格化が進み、もはや生活上の障壁とはなりません。あらゆる身体機能的な障がいは今後も技術革新や最先端医療による社会的障壁の除去が大いに期待できます。しかし重度障がい、なかんずく知的・精神分野に関しては道

筋が容易に見えませんが、多くの人々にその生活実態は想像し難く、ゆえに一側面を以て全体を断ずる構図が成立することは理解できます。そして、だからこそ「障がい福祉」の存在意義がそこに凝縮されていると、私は見ます。

現在、横浜地裁において元施設職員を被告とした相模原障害者施設殺傷事件の裁判員裁判が行われています。2016年の事件発生から3年半超、ようやくこの3月に地裁判決が言い渡される見通しですが、重度重複障がい者を選別し殺傷した元施設職員は「彼（彼女）らを育てることは莫大なお金、時間を失うことにつながる」「事件を起こしたのは不幸を減らすため」との主張を変えず、いかなる判決にも控訴しない考えを示しています。

命の選別という観点では日本でも2013年に新型出生前診断が解禁されました。宗教の影響が比較的少ないためか、日本では人工妊娠中絶の是非についての議論が欧米諸国に比べ低調だとの印象があります。かくいう私も染色体異常をもつ重度重複障がい児の親でありながら漠然と親が判断すれば良いと

わが国では今、重度障がい者福祉を前進させるとの「本気」が施策に表れてきたと感じます。私たち事業者はそれに応える責務があり、そして是非に思えないと思いません。元施設職員や同調者が、重度障がい者や胎児の「意思が確認できない」ことが即ち当人に「意思がない」ことを意味しない、という当たり前の事実の重さに思いを致し、真にヘレン・ケラーの遺言の奥深さを認識する日が来ることを切に願ひ、そして信じます。

わが国では今、重度障がい者福祉を前進させるとの「本気」が施策に表れてきたと感じます。私たち事業者はそれに応える責務があり、そして是非に思えないと思いません。元施設職員や同調者が、重度障がい者や胎児の「意思が確認できない」ことが即ち当人に「意思がない」ことを意味しない、という当たり前の事実の重さに思いを致し、真にヘレン・ケラーの遺言の奥深さを認識する日が来ることを切に願ひ、そして信じます。

社会福祉法人こころの窓 事業概要

- 青い鳥 就労継続支援事業B型 定員 20名
- ヴィラージュあゆみ ヴィラージュあまね 生活介護事業 定員 80名
- ショートステイあかね ショートステイ(短期入所事業) 定員 12名
- 相談支援事業所青い鳥 相談支援事業
- 青い鳥初芝教室 児童発達支援事業・放課後等デイサービス 定員 10名
- ショップ青い鳥

KoKoRo no MaDo

Social Welfare Organization

理念

- 愛と英智で 人に添い
- 愛と英智で 事に当たり
- 愛と英智で ともに生きる

障がいはいは不便ですが不幸ではありません

ヘレン・ケラーが残した、世に知られた名言です。

「ここである」「障がい」とは心身機能に限る円滑な社会生活を阻害する諸課題（つまり、障害）のことであり、「健常者」を生活主体としデザインされた私たちの暮らしの中の「不便」そのものを言い表しています。その意味で「障がい」「不便」という言説は「障がい」は障害」という類語反復に過ぎず、当たり前の話、となります。また、「不幸」「不幸」といふ、主観に依拠し一義的に決まるはずのない「価値」を「障がい」に紐づけ「不幸」だとすること何ら論理性はなく、その意味において「障がい」は不幸ではない（障がい≠不幸）との言説もまた、当然成立するトートロジーだと言えます。

卑近ですが、私は視力0.1を切る近視で眼鏡なしには生活できません。しかし、障がいがあるとは誰も見なしませんし、眼鏡購入に補装具のような助成があるわけでもありません。日本人の実に半数以上が近視であり普通のことだからです。しかも視力補正器具は市場が大きく眼鏡やコンタクトレンズの低価格化が進み、もはや生活上の障壁とはなりません。あらゆる身体機能的な障がいは今後も技術革新や最先端医療による社会的障壁の除去が大いに期待できます。しかし重度障がい、なかんずく知的・精神分野に関しては道

すごう第二ホームがオープンします。

2020年初夏、社会福祉法人こころの窓の11番目のグループホームとなる「すごう第二ホーム」がオープンします。

5名の利用者様が新しい生活にチャレンジされる予定です。それぞれの今までの生活を大切にしながら、利用者様が穏やかに、自分らしく、かつ楽しく過ごすことができるように、法人全体で支援していきます。

これからも障がいがある方が安心して、地域で暮らし続けることができるよう、より一層努力してまいります。



交通安全講習会を行いました。

2019年12月9日（金）に、警察署の方にお越しいただき「交通安全講習会」を行いました。

携帯電話等を操作しながら運転する“ながら運転”に関する罰則強化について説明を受けました。その他にも、ドライブレコーダーの映像から、事故になりやすい運転方法や状況について、学びました。今回の講習を生かして、日々の安全運転に努めてまいります。



テントを寄贈していただきました。

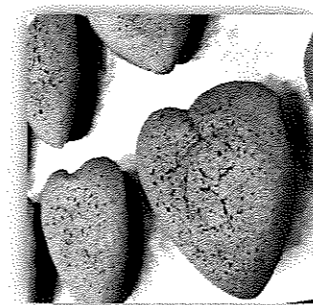
昨年度の「青い鳥まつり」にて、福引の景品などに協賛いただきました「堺南ライオンズクラブ」様より、テントを寄贈していただきました。

テントは、法人で実施する行事や製菓販売時に使用させていただきます。



あおいとりのおかし

青い鳥のオープンからチョコレートの甘い香りがただよっています。甘い香りは人を幸せにしますよね (//><) ついつい手が伸びて、食べ過ぎてしまいそうです。今回は、おススメのチョコレートをを使った製菓を2つ紹介します。



ハートのガトーショコラ

1つ目は絶品ガトーショコラ。小さくても濃厚な人気商品です。スイートチョコレートを 사용하여、甘さ控えめになっています。

塩ショコラ

2つ目は塩ショコラ。“堺市授産製品コンクール”に出展した自信作です。岩塩を振りかけるとチョコの甘さが引き立ちます。



今日も健康

インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症にご注意ください！

インフルエンザ及びノロウイルスによる食中毒、感染性胃腸炎が本格的な流行を迎えています！
インフルエンザウイルス・ノロウイルスは、非常に感染力の強いウイルスです。
感染すること自体を完全に防ぐことは難しいですが、感染を広げない、重症化を防ぐことが大切とされています。

【 インフルエンザ 】

○症状

- ・38℃以上の発熱 ・ワクチン接種されている方は、高熱が出ない場合もあります。
- ・全身症状（関節痛・筋肉痛・頭痛・倦怠感・鼻水・咳・のどの痛みなど）

◇予防対策

- ・ワクチン接種

インフルエンザワクチン…発症の危険性を50～60%減少させることができるとされ、発症した場合にも重症化を防ぐ効果が高くなります。

肺炎球菌ワクチン …インフルエンザの合併症である肺炎の予防効果・重症化を防ぐ効果が高くなります。

- ・手洗い
- ・マスク
- ・規則正しい生活

【 ノロウイルスによる食中毒・感染性胃腸炎 】

○症状

- ・下痢
- ・嘔気・嘔吐
- ・腹痛

◇予防対策

- ・手洗い・消毒
- ・ウイルスの拡散の防止
 - 調理器具の洗浄
 - 食材の加熱処理（85℃以上で、90秒間以上）
 - 適切な吐物の処理

〈吐物の処理方法〉

- 【準備】 ①窓を開け換気をする
②マスク、手袋、エプロンを着用する。濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒
- 【拭き取り】 ③ペーパータオルで嘔吐物の上を広い範囲で覆う。
④ペーパータオルの上に濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを注ぎ、10分間程度放置する。
⑤飛び散らない様に外側から静かに拭き取る。
- 【消毒】 ⑥拭き取ったペーパータオル及び嘔吐物は、すぐにビニール袋に入れ密閉して廃棄する。
（この際、ビニール袋に濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを入れることが望ましい。）
⑦嘔吐物が付着していた床とその周囲を、濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒し水拭きする。
⑧処理後、手袋を外し、手洗いをする。
使用後のマスク、手袋、エプロン等は⑥と同じようにビニール袋に密閉して廃棄する。



疑われる症状がみられる場合は、通所はお控えいただき、医療機関に受診されますようご協力をお願いします。
尚、感染性疾患でない場合でも体調がすぐれない時は、十分に体を休まされますよう、ご自宅での静養をおすすめいたします。

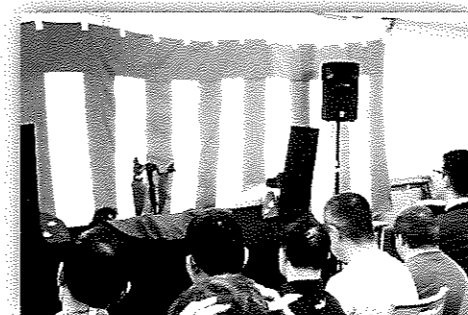
(看護師 谷口 裕子)

イベント紹介

今回は年末年始に青い鳥で行ったイベントであるクリスマスと新年会について紹介いたします。

クリスマス

青い鳥のみなさんで壁面装飾にチャレンジ！
作業の合間に、画用紙や、毛糸、ビニールテープ、折り紙などを使い、作品を作りました。
食堂に飾ったものは約3m×2mの超大作です！



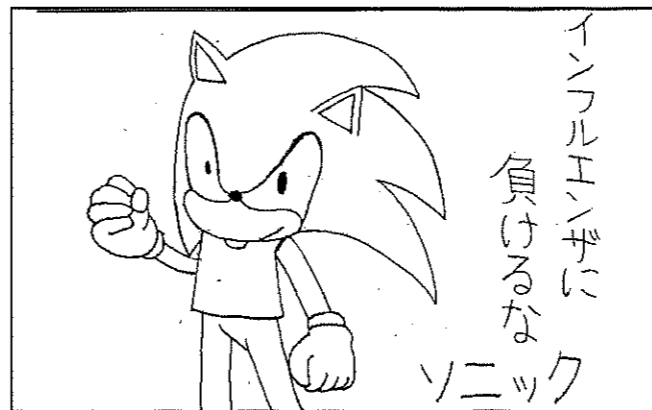
新年会

毎年恒例で大人気の「ア・ラマ」様が、野菜のマスコットを使った人形劇をされ、ユーモアたっぷりのお芝居に大いに盛り上がりました。

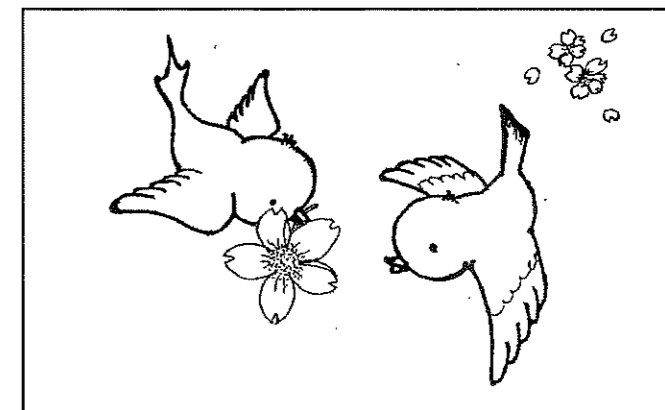
その次に還暦を迎えられた利用者様が赤いちゃんちゃんこを着て、みなさんでお祝いを行いました。
年男・年女になった8名の利用者様もみなさんの前で挨拶をされました

最後に、職員が扮した神主・巫女からおみくじを受け取りワクワク・ドキドキしながらおみくじを開けて、「なんて書いてあるのだろう？」「おみくじ大吉だった！」とみなさんでお話をされていました。
今年もみなさんにとって、いい1年でありますように...

アーティストノマド



辻 佑造 さん
(青い鳥 就労継続支援事業B型)



柳原 千佳利 さん
(青い鳥 生活介護事業)